

# BIDOOR NEWS DEC.2007

2007年12月号 ビドールニュース

## 1 Products 製品

## 2 Report お知らせ

価格改正のお願い  
販売中止製品のご案内  
表記訂正のご案内

## 3 Information 情報

10月の住宅着工 35%減



ビドールニュース 2007年12月号 発行: 株式会社 ナガノ  
大阪市東成区大今里西 1-25-4 TEL: (06)6972 - 3824(代)  
メール: [info@bidoor.co.jp](mailto:info@bidoor.co.jp) WEB: <http://www.bidoor.co.jp/>





## 在庫販売中止製品のご案内

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は「BIDOOR(ビドー)」製品に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の製品(現在、弊社総合カタログ、装飾カタログに記載中)につきまして、諸種の事情により、在庫による販売を中止させていただきたくことになりました。取り急ぎ、ご報告させていただきます。永年のご利用有難うございました。

記

品 名	材質	総合頁	装飾頁
オリエント 12-132	黄銅	169	3

実施日:平成 19 年 12 月 1 日より

以上

BIDOOR(ビドー)製品についてのご質問はお気軽にご連絡ください。

敬具



ビドーニュース 2007 年 12 月号 発行: 株式会社 ナガノ  
大阪市東成区大今里西 1-25-4 TEL: (06)6972 - 3824(代)  
メール: [info@bidoor.co.jp](mailto:info@bidoor.co.jp) WEB: <http://www.bidoor.co.jp/>



## 在庫販売中止製品のご案内

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は「BIDOOR(ビドー)」製品に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の製品(現在、弊社総合カタログに記載中)につきまして、諸種の事情により、在庫による販売を中止させていただきたくことになりました。取り急ぎ、ご報告させていただきます。永年のご利用有難うございました。

記

実施日:平成 19 年 12 月 1 日より

以上

品番	品名	色	サイズ	記載頁
PF-11	銀底四方角		全サイズ	52
PF-12	金底四方角		全サイズ	52
PF-43	三号割菊	黒	大	53
PF-44	隅入角玉子	ウルミ	大	53
PF-164	東商角	グレイ	全サイズ	55
PF-168	鉄寸八東角	黒	全サイズ	55
PF-169	鉄寸八東角	ウルミ	全サイズ	55
PF-302	金糸菊透	黒	全サイズ	59
PF-311	丸木瓜	黒	全サイズ	60
PF-312	丸木瓜	茶	全サイズ	60
PF-326	平安立角	ネズミ	全サイズ	61
PF-327	平安立角	茶	全サイズ	61
PF-110	鉄打出嵐二寸丸	ウルミ	全サイズ	54
PF-111	鉄打出嵐二寸丸	黒	全サイズ	54

PF-110.111 については、平成 15 年 4 月にご案内済みです。

BIDOOR(ビドー)製品についてのご質問はお気軽にご連絡ください。

敬具



## カタログの表記訂正のご案内

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は「BIDOOR(ビド  
ー)」製品に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社カタログ『集合住宅用インテリア金物シリーズ』におきま  
して、表記間違いがありました。下記の通り、訂正させていただきます。

記

品番	品名	誤	正	記載頁
HW-194S	ハサミ止白木取手	カラー クリアー	生地	25
HW-124	面打白木取手	カラー クリアー	生地	25
RB-185	フィンガー戸当り SG	品番 RB-185	RB-184	41

以上

このたびはご迷惑をおかけいたしました。上記製品のご発注の際に間違い  
が起こらないよう、再度内容の確認をお願いいたします。今後はこの  
ような事がないように努力いたします。何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具



10月の住宅着工

# 4カ月連続の大幅減 (35%減)



発行所  
住宅資材新聞社  
東京都港区芝2丁目2番12号  
ローヤルマンション金杉 千105-0041  
☎03(3455)3081 FAX03(3455)3082  
発行日 毎月5日、15日、25日  
購読料 年間15,750円 半年8,300円  
振替口座 00120-4-133846番

## 減少幅はやや縮小

### 持家は回復の動き (8%減)

国土交通省が十一月三十日発表した十月の建築着工統計調査報告によると、同月の新設住宅着工戸数は、改正建築基準法施行の影響により、四カ月連続の減少となる前年同月比三五・〇%減となった。持家は前年同月比八%減にとまり回復の動きが見えるものの、貸家(四・〇%減)、分譲住宅(五・〇%減)は引き続き大幅減となった。特に落ち込みが大きかったのは分譲マンションで、首都圏が三七・〇%、近畿圏が七二・五%減だった。

### 分譲マンションは71%減

十月の着工戸数の詳しい動向は、四カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は八十五万一千戸(前年同月比三十三万八千戸)で法改正後は七十七万二千四百戸で、前年同月比三七・七%減となった。このうち、民間資金による持家は二

初めて前月を上回った。

▼利用関係別 持家は二万

七千七百二十四戸で、前年同月比三七・七%減となった。このうち、民間資金による持家は二

分譲住宅のうちマンションは六千五百六十七戸で、同七一・一%減と、四カ月連続の減少。地域別のマンション着工戸数は、首都圏が二千六百九十二戸(前年同月比七三・〇%減)、中部圏が千十三戸(同二五・二%減)、近畿圏が千六百一戸(同七二・五%減)、その他の地域が千二百六十二戸(同七七・五%減)。また、一戸建分譲住宅は一万九千五百三十三戸で、前年同月比九・五%減と、六カ月連続の減少となった。

▼資金別 民間資金住宅は七万一千八百戸で、前年同月比三三・三%減、公的資金住宅は六千九百二十戸で、同三一・六%減となった。公的資金の内訳は、公営住宅が五百八十八戸(前年同月比四八・四%減)、住宅金融機構融資住宅が二千三百七十三戸(同四六・〇%減)、都市再生機構建設住宅は七戸、その他の住宅が三千九百四十九戸(同一一・一%減)。

▼構造別 木造は四万五千九百三十戸で、前年同月比五・九%減、非木造は三万九百九

万五千三百八十一戸で、同七・四%減(九カ月連続の減少)、公的資金による持家は二千三百四十三戸で、同一四・七%減(二十三カ月連続の減少)。貸家は三万一千七百六十六戸で、同四・二%減と、四カ月連続の減少となった。このうち、民間資金による貸家は二万九千七百七戸で、同四・〇・八%減(四カ月連続の減少)、公的資金による貸家は二千五百八十九戸で、同三一・六%減(四カ月連続の減少)。分譲住宅は一万七千三百七十七戸で、同五〇・二%減と、四カ月連続の減少となった。

十戸で、同五五・六%減となった。非木造の内訳は、鉄骨鉄筋コンクリート造が六百戸(前年同月比八八・〇%減)、鉄筋コンクリート造が一万五千二百四十八戸(同六四・九%減)、鉄骨造が一万五千三十戸(同二九・一%減)、コンクリートブロック造が二十九戸(同七一・〇%減)、その他が八十三戸(同九・八%減)。

▼都道府県別 前年同月比で鳥取(二八・一%増)、石川(一五・一%増)など十一県が増加、京都(六九・五%減)、油縄(二六・五%減)など三十六都道府県が減少となった。このうち、二十都道府県が三〇%を超す大幅減。

▼三大都市圏 その他の地域別 前年同月比で見ると、総戸数は、首都圏が四二・七%減、中部圏が一五・二%減、近畿圏が四八・四%減、その他の地域が二八・七%減と全ての地域で減少となった。利用関係別では、持家は、首都圏一一・五%減、中部圏〇・三%減、近畿圏八・九%減、その他の地域八・八%減、貸家は、首都圏四三・三%減、中部圏二六・七%減、近畿圏六一・六%減、その他の地域三三・八%減、分譲住宅は、首都圏五三・九%減、中部圏七・一%減、近畿圏五一・二%減、その他の地域五四・七%減となった。

